

政策名	第3章 心豊かに学びあう文化創造のまち
施策名	6 国際化への対応と多様な交流活動の促進

主担当課	総務課
関係課	

1. 施策の現状と課題

地球規模でボーダレス化（境界がなくなること）が進展し、あらゆる分野で国際化が急速に進む中、地域レベルでの市民主体の国際交流活動が全国的に活発化しています。
 このような中、本市では、市民の海外派遣による国際交流事業を推進しているほか、市民レベルでの国際交流・協力活動を促進しています。
 今後、国際化がさらに進む中で、様々な国や人々との交流は、幅広い分野で地域の活性化を促すことが期待されることから、これらの取り組みの一層の充実を図りながら、市民主体の多様な国際交流活動を促進していくとともに、外国籍の人々の増加を踏まえた外国人が暮らしやすく行動しやすい環境づくりなど、世界に開かれたまちづくりを進めていく必要があります。
 また、国内における他地域等との交流も、地域活性化や人材育成の大きな契機となるものであり、地域間交流の促進が求められます。

2. 施策の基本方針

国際化時代、交流時代に対応し、市民主体の国際交流活動、地域間交流活動を促進し、市の発展に生かしていきます。

3. 施策の内容(主要施策名)

(1)国際交流事業の充実	市民レベルの主体的な国際化、国際交流を促進するため、海外派遣や市内に住む外国人との交流などの国際交流事業を企画・推進します。 また、海外ボランティアについて、広報誌等を通じて参加者を募集するなど、その活動を積極的に支援します。
(2)国際姉妹・友好都市提携の検討・推進	幅広い分野における交流活動を通じて地域の活性化を図るため、国際姉妹・友好都市の提携について検討・推進します。
(3)国際交流団体の育成	国際交流・協力活動において重要な役割を担う各種国際交流団体の育成・支援を行い、市民主体の活動の活発化を促進します。
(4)国際化時代に対応したまちづくりの推進	外国人が暮らしやすく行動しやすい世界に開かれたまちづくりに向け、案内板や各種刊行物等の外国語併記に努めるとともに、市役所窓口における外国人への対応の充実に努めます。
(5)地域間交流活動の促進	本市の特性や資源を生かしながら、国内の自治体と姉妹都市を提携し、文化交流や人的交流を促進します。

4. 成果指標及び中間目標年度(H22年度)までの達成度

指標名 [指標の把握方法]	単位		H18年度(初期値)	H22年度(中間値)	H27年度(最終値)	中間目標年度(H22年度)までの達成度
支援団体数 [補助金交付団体]	団体	目標値	2	2	2	これまで活動していた団体のうち1団体が活動を休止したため、中間目標値を下回りました。 今後も、積極的に国際交流活動を行う団体に対し、適切な支援を実施することにより、市民主体の活動の活性化を推進します。
		実績値	2	1	—	
外国語指導助手及び外国語活動支援員数 [小中学校の外国語指導助手及び外国語活動支援員の任用数]	人	目標値	2	3	3	外国語指導助手2名と外国語活動支援員1名を任用しており、中間目標値を達成しています。 今後も引き続き任用し、小中学校の外国語授業の補助、国際理解教育の補助等を実施することにより、外国の言語や文化について体験的に理解を深めるとともに、積極的なコミュニティ能力の育成を図ります。
		実績値	2	3	—	

5. 評価結果(今後の方針、指摘事項)

総括と今後の取組方針(部・課の方針)	総合計画策定委員会委員長指摘事項	市長指摘事項
国際交流については、本市では民間レベルを中心に、以前から教育・文化交流事業を推進していますが、市内に愛媛大学の医学部があることから、留学生も多数居住しており、行政に対しては交流事業の推進が求められています。 今後は、県や他市町とタイアップした市民交流事業や小中学生の交流事業の促進に努めます。	窓口における外国人への対応や、小・中学校における英語教育の充実を図ってください。	地域活性化・交流人口の拡大のため、具体的な事業について計画してください。